

旭小中一貫教育研究会 『学力向上部会』
第7回 部 会 記 録

ねらい

「小学校5・6年、中学校1年の授業研究を通して、授業の改善を図る」
「生き生きと生きる力を育てていく過程を重視する」

具体的な内容

- 「一人ひとりの考えを もたせる・引き出す 授業づくりの工夫」
- ・「めあて」「活動」「まとめ」などの視覚的カードの提示
 - ・学習規律の徹底(特に小学校)
 - ・言語環境を整える「声のものさし」の活用
「話す・聞く」力をつける
 - ・学習の手順、構造化について
 - ・「問題」「めあて」「課題」の提示について、指導者の認識把握

1 開催日 平成22年1月8日(金)

2 出席者

小学校 植月 辻 玉井
中学校 吉竹校長 大塚ま 大塚や 中尾

3 話し合われたこと

小中合同研修会(H20.12.24)の資料を基に『課題』を話し合う。

家庭学習=宿題なのか?授業につなぐための家庭学習=復習・予習にしていきたい。小中学校、学年発達もあるので、次回の部会に、小中学校の家庭学習の取り組みをレポートにまとめ持ち寄り、研究をしていく。一人一人の子どもたちが、生き生きと自ら学ぶ意欲を持って、授業に臨む家庭学習を工夫や具体的なアプローチの手立てを見つけていく。

中学校の「縦割り道徳」の取り組みを紹介してもらう。(大塚先生)

～命に関わること～「明日も生きていこう」資料(横山ゆりか)

授業の流れ【模擬授業】・・・板書

児童をブロック単位に、そして、教員もブロック単位で、授業が行えるのは、旭中学校ならではの取り組みだと思った。小学校も低・中・高別の新たな「道徳」の取り組みの参考になった。また、「道徳」資料を具体的に板書計画・発問などの工夫を教員全員で行った実践力は、中学生生徒の「道徳授業」の「意識」を大きく変えたのではないかと感じられた。



4 次回について

平成22年2月17日(水) 於: 旭中学校

内容: 授業と家庭学習をリンクさせるための工夫を研究する。